

柏高ニュース

第17号
平成26年1月7日
東大阪大学柏原高等学校

校長コラム - 創立50周年記念「伊勢徒歩旅行」が終了 *「ニュースです!」のコーナー参照

記念行事のフィナーレを飾る「伊勢徒歩旅行」に50人を超える生徒が参加しました。日ごろから元気のある生徒の参加も多かったですが、人との会話が苦手な生徒やおとなしそうな生徒もたくさん参加しました。道中、校名を書いたのぼりを掲げて歩き続けました。ママができたり足が痛くなったりして足を引きずりながら歩く生徒もいました。3人で騎馬を組み一人をかついで手助けする生徒たちもいました。街道筋の住民の方々からは幾度も励ましの声をかけてもらいました。Bプラン(二日間で50キロ歩行)でもかなりハードな行程でしたが、Aプラン(柏原から伊勢まで歩きとおす)に参加した生徒の感動は何物にも代えがたいものであったようです。この素晴らしい体験が大きな自信となり、これからの人生を前向きに歩む一つのきっかけにしてほしいものだと願っています。また、成功の陰に多くの方々の支え、協力があつたことも忘れないでくださいね。

新年おめでとう!

~充実した3学期にしたい!~

1月5日(日)「小寒」から、2月3日(月)の「節分」までの1か月間が「寒の内」、1年で一番寒い季節です。穏やかな新春の中で、各クラブの練習も始まりました。3年生は、もうわずかな柏高生活です。一日一日を大切にしてほしいものです。健康にもご注意を!

ニュースです!

*「伊勢徒歩旅行」がんばりました

2年に1度の「伊勢徒歩旅行」(約150km)今年も創立50周年記念行事の一環として12月21日(土)~25日(水)に実施されました。今回は、「Aプラン」5日間で宿泊しながら完歩するコースには柏高生26名、「Bプラン」24日(火)~25日(水)の一泊で途中から合流するコースには柏高生22名に、敬愛高校の女子留学生5名も参加しました。引率教員は、校長先生をはじめ16名、総勢約70名の人数でした。途中には、険しい山道もあり、いろいろなことがあったようですが、無事に完歩しました。

紙面がないのでAプランの紹介をしましょう。今年も伊勢神宮の「式年遷宮(しきねんせんぐう)」ということでこの「伊勢本街道」を歩くことがブームになっていますが、5日間連続で歩くのは、かなりの「大事業」なのです。21日(土)の朝7時半には、たくさんの先生方や保護者の方に見送られて出発しました。<上は、出発式の写真> 全行程を歩いた先生は、谷山・段上・上原・西・石本先生、伴走車は、田中良・前田先生と養護教諭の松下先生でした。初参加の上原先生にお聞きすると「参加者全員が、完歩したことはうれしかったですが、体育コースの3年生がみんなを気遣い、よくフォローしてくれて、そのことにも感動しました。」とのことでした。



* バドミントン部

「2014年日本代表選手Bチーム」に 常山幹太・下農走が選出されました

柏高の2名の選手が、日本バドミントン協会から「2014年日本代表選手(ナショナルチーム) B代表」に選抜されました。A代表チーム男女各10名は「リオ五輪」を見据え、B代表チーム男女各10名は2020年の「東京五輪」を見据えたチームです。A代表チームには9月のジャパンオープンで優勝した福井県立勝山高校1年の山口茜さんが入っています。B代表チームでは、先日の全日本総合選手権男子でシングルスでベスト8に入った常山幹太(2年)〈滋賀県草津中出身〉と、下農走(2年)〈大東市大東中出身〉の2名が男子高校生としては唯一、選抜されました。

「全日本総合選手権大会」 12月3日(火)~8日(日)東京 国立代々木競技場第2体育館

常山幹太が高校生としては最上位のベスト8に入りました。朝日新聞の12月7日号でも紹介されました。下記の記事は「バドミントンマガジン 1月号」のインタビューです。30分にわたって、しっかりと受け答えできた、と引率の明石先生が様子を伝えてくれました。

常山幹太 [東大阪大柏原高2年]

Kanta TSUNEYAMA

イ ンターハイ単チャンピオンの常山が、伸びのびとしたプレーを続けて準々決勝進出。キャリア豊富なベテランの池田雄一(東京都協会)、そしてインカレ複優勝の古賀輝(早稲田大)という実力上位選手をストレートで連破し、堂々のベスト8入りを果たした。上田に対しては第1ゲームの9-0から失速し、「スピードが速くて、ついていけなかった」と脱帽したが、潜在能力の高さを存分にアピール。「今回、2つ勝てたことは自信になった。今後の課題は、総合的なスピードをつけること。それとまだ細いので、体もしっかり作っていきたい」と常山。高校生活最後の2014年シーズンが、ますます楽しみになってきた。



* 「アジア学生交流プログラム(ASEP)」に参加し、金賞に!

アジア学生交流プログラム(ASEP)は、2000年から継続して開催されている、アジア地域の学生が共通のテーマに沿って発表を行う取り組みで、今年で13回目を迎えます。現地の台湾・高雄市の瑞祥高校とパートナーとなり、意見交換などに取り組みました。本番では英語や中国語を中心に活発なプレゼンテーションや、豊かな交流がありました。前年度は敬愛高校が参加したので今年は柏高が参加しました。参加者は、井上充隆(3年)・石井優希(3年)・下岡俊治(2年)・森田幸雄(2年) 引率は野津先生でした。柏高チームは、プラチナ賞に続くゴールド賞をいただきました。詳細は次号で紹介します。

* 「柏原シティキャンパスマラソン」参加選手を募集します! ポスターも見てね

平成26年3月9日(日)午前に大阪教育大学柏原キャンパスで「2014 柏原シティキャンパスマラソン」が実施されます。参加できる男子高校生は「一般男子」で、「5km」と「10km」の2コースです。参加希望者は、1月20日(月)までに、松浦先生・久賀田先生まで来てください。